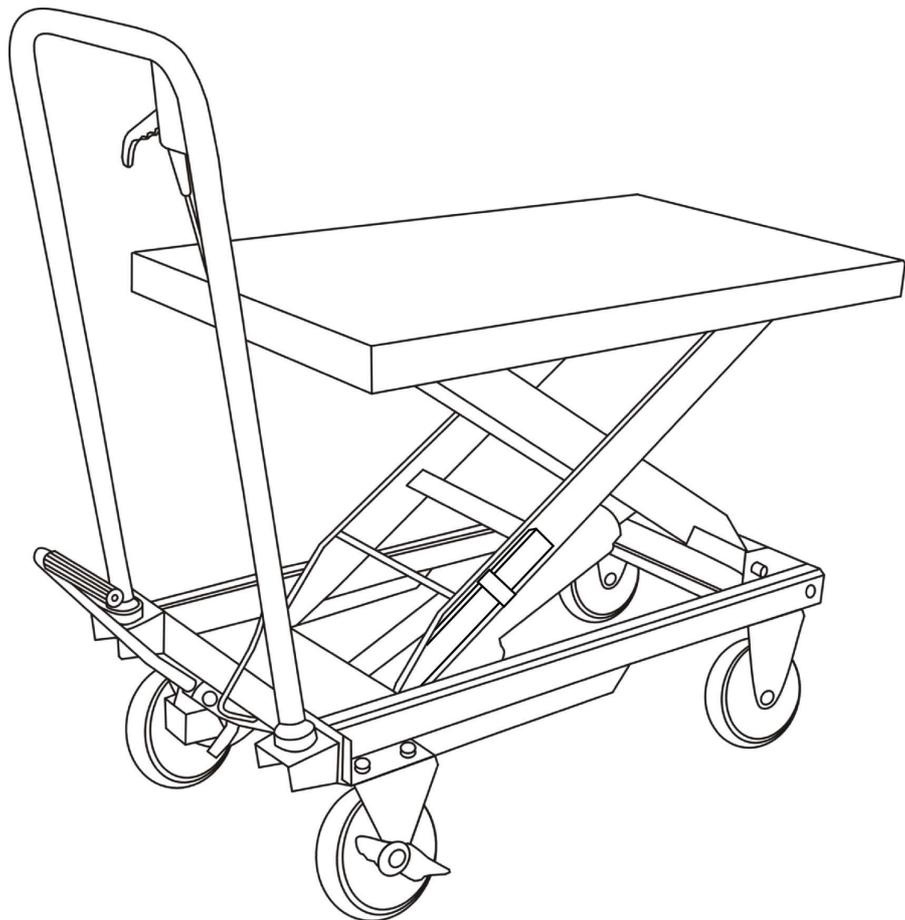


油圧テーブルリフト

KT-150HX/ KT-150HL/ KT-180XL/ KT-200LB/ KT-350HL

取扱説明書

この度は、油圧テーブルリフトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願い致します。尚、この取扱説明書は常時内容が確認できるよう大切に保管して下さい。



KAZ

KAZ CO.,LTD.

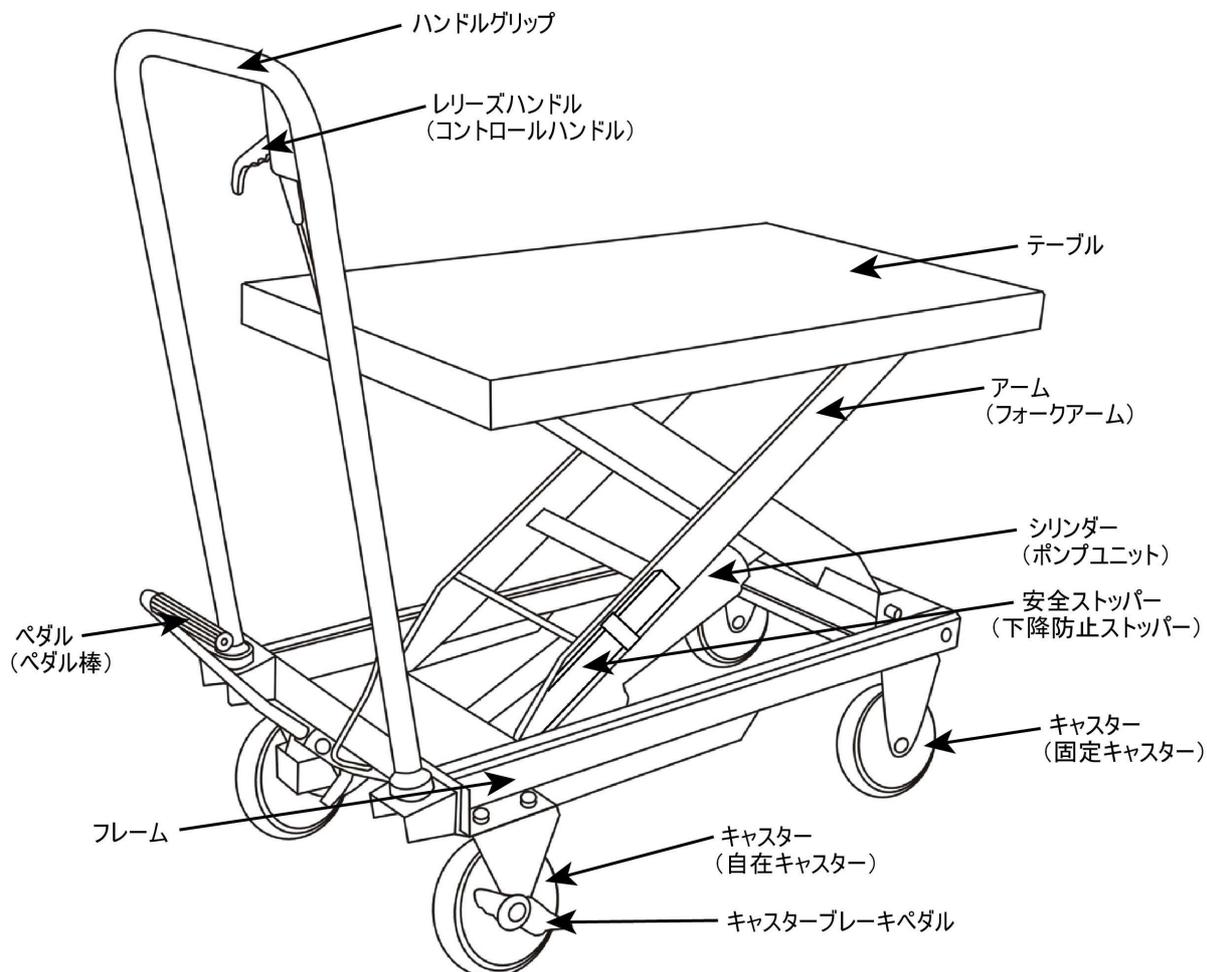
警告

- 手や足などを機械に挟まれそうな箇所に置かないでください。
- 移動時のリフターの前後に人が立っていないことを確認してください。
- 作業テーブルの上昇中にリフターを動かさないようにしてください。積荷が落ちる危険があります。
- 作業テーブルの下方には入らないでください。
- 作業テーブルには過剰積載しないようにしてください。
- 車輪の前に足を置かないようにしてください。怪我をする危険性があります。
- リフターの移動中には地面の段差に注意してください。積荷が倒れる危険性があります。
- リフターを傾斜のある場所で使用しないでください。リフターをコントロール出来なくなり、非常に危険です。
- リフターには人を載せないでください。人がリフターから落ち、怪我をする危険性があります。

注意

- この操作説明書を注意深くお読みの上、完全に理解してからリフターを操作してください。不当な操作は危険を招くおそれがあります。
- このリフターは作業テーブルの許容荷重範囲内の荷物を昇降する為の設計となっており、別の用途、目的には使用しないでください。
- 操作方法の分からない人がリフターの操作をするのを禁止します。
- 急速に作業テーブルの下降をしないでください。積荷が落下し危険です。
- 荷物の積み下ろしの際は十分に注意してください。積荷が不安定と感じたら、リフターの操作をストップしてください。
- 積荷を作業テーブルに積み下ろすときはキャスターブレーキを掛けてください。
- 積荷は必ず、作業テーブル全体の80%以上均等に分散させてください。片寄せた積荷をしないでください。
- 積荷が不安定なときはリフターを使用しないでください。
- メンテナンスの実行は補修、点検の項目に沿って行なってください。
- 製造元の同意を得ずにリフターの改造をしないでください。
- 作業テーブルから積荷を移動するとき、安全ストッパーを使ってテーブルの下降を止めます。
- このリフターは防水設計をしていないので、乾いた場所でお使いください。

【1.各部の名称】



【2.ペダルの組み付け】

- ①ペダルに取り付けてあるボルト、ナット、ワッシャー類を取り外します。
- ②フレーム後側にある連結ロッドにペダルを差込みます。
※ペダルには方向がありますので間違わないように取り付けて下さい。
(右図参照)



- ③穴を合わせ、右側から平ワッシャー(1枚)を通しボルトを締め込みます。
- ④左側から平ワッシャー、スプリングワッシャーの順に通しナットを締め込みます。

【3.リフターの操作方法】

ブレーキの使い方



リフターが停止している時、自然に動いてしまうことを防ぐ為に
必ず、キャストブレーキを掛けること。

キャストブレーキは自在キャストの横側にあります。(KT-180XL・KT-200LB は上側)

- ① ブレーキを掛ける時は、キャストブレーキペダルを踏みこみます。
- ② ブレーキを解除する時は、キャストブレーキペダルを持ち上げます。

テーブルの上昇



リフターを過負荷しないようにしてください。
許容負荷内に留まること。

ペダルを数回踏んで頂くと、テーブルが希望の位置まで上昇します。テーブルは最高点に達すると、ペダルを押してもそれ以上には高くなりません。また、テーブルが最高点に到達すると、最高地点から高さが少し下がります。

許容荷重				
KT-150HX	KT-150HL	KT-180XL	KT-200LB	KT-350HL
150kg	150kg	180kg	200kg	350kg

※ 注意

油圧シリンダーはテーブルを支える為の設計で、ごく一般的な油圧システムにより、一定の期間を超えると、テーブルが極ゆっくりと下降します。

長時間、同じ位置に留めることが出来ませんので、ご注意ください。

テーブルの下降



手や足などを機械に挟まれそうな箇所に置かないでください。

リリースハンドルを軽く握って頂くと、テーブルが希望の位置までゆっくり下降します。

リリースハンドルを強く握ってしまうと急速にテーブルが下降し大変危険です。

【4.保守点検時のテーブル下降防止安全対策】

保守点検等でテーブル下部に入る時は、テーブルには荷物等がない状態にし、下降防止ストッパーを掛け、テーブルやアームが下降してケガをしないように安全対策を必ず実施してください。

下降防止ストッパーの使用方法

- ①ペダルを踏んでテーブルを最高点まで上昇させます。
- ②アーム部分に取り付けてある下降防止ストッパー(左右2本)をフックからはずしフレームにのせます。

- ③リリースハンドルを軽く握り下降防止ストッパーをフレームにロックさせます。
- ④下降防止ストッパーを解除する時はペダルを踏んでテーブルを上昇させます。
- ⑤下降防止ストッパーをアーム部分に戻します。(左右 2 本)
- ⑥リリースハンドルを軽く握り最低点までゆっくり下降させます。

【5.保守点検】

保守点検は異常を発見するのに一番有効な方法です。

下記の項目をチェックしてください。

※テーブル下部に入る時は必ず【4.保守点検時のテーブル下降防止安全対策】を実施して下さい。

日常点検

- ①リフターにキズ、変形、亀裂はありませんか。
- ②キャスターはスムーズに動きますか。
- ③キャスターブレーキ機能は正常に働きますか。
- ④リフトの上昇下降動作に異常はありませんか。

日常点検(1ヶ月毎)

- ①溶接部に亀裂や破損はありませんか。
- ②シリンダーからのオイル漏れはありませんか。
- ③各接続部のボルト、ナット等のゆるみや破損はありませんか。

メンテナンス(1ヶ月毎)

■潤滑オイル給油箇所

- ・シリンダーの連結部
- ・リングピン

■グリスアップ箇所

- ・アームローラーとテーブル、フレーム接触部

※少しでも異常を感じた場合は、使用を中止し、直ちにお買い求めの販売店にご連絡下さい。

【6.寒冷地に於いての使用】

冬期間、マイナス気温地域に於きましては油圧オイルが硬くなりスムーズな作動が出来ない場合があります。

暖かい屋内でオイルが温まり柔らかくなってから使用するか、寒冷地用油圧作動油(ハイドロタイプ極寒用 ISO 規格 No.32 以下)に交換することをお勧め致します。

オイルを交換する場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。

【7.仕様】

型番	均等荷重 (kg)	テーブル(mm) L X W	テーブル高 (mm) h~H	車輪(mm) D	重量 (kg)	特 徴
KT-150HX	150	740 × 450	220 -750	Φ100	44	スタンダード
KT-150HL	150	700 × 450	302-1100	Φ100	64	アーム 2 段高上昇
KT-180XL	180	740 × 610	340 -855	Φ200	60	大車輪 幅広テーブル
KT-200LB	200	1000 × 500	340-1000	Φ200	71	大車輪
KT-350HL	350	910 × 500	350-1300	Φ127	110	アーム 2 段高上昇 高耐荷重

